

大 正 九 年

奈 良 縣 統 計 書

第 一 編



奈 良 縣

# 大正九年奈良縣統計書 第一編

## 凡 例

(1) 大正九年奈良縣統計書ハ次ノ二編ヨリ成リ本編ハ其一編トス

第一編 土地 戸口 教育 社寺  
慈惠及褒賞 警察 裁判及登記  
衛生 土功 交通 財政  
議會 官吏及公吏 附録

第二編 氣象 農業 家畜  
山林及鑛業 商賈 工業  
金融及貯蓄 産業 團體及勸業費

(2) 本編收ムル所ノ事實ハ廳内主務課ノ調書、郡市役所ノ報告書類及他官署若クハ公私團體ヨリ蒐集シタル材料ニ依リ編製セリ

(3) 各表題ノ下ニ大正何年トアルハ曆年間ノ事實、大正何年度トアルハ會計年度中ノ事實、大正何年何月何日現在トアルハ其日ノ現在數ナリ

(4) 數位ハ概ネ圓、石、貫、斤、町等ノ一位ニ止メ以下ノ端數ハ四捨五入ノ法ヲ用フ但シ小數ノ記入ヲ要スルモノハ其一位ニ(・)ヲ附シ又一位以上ノ計數ハ三位法ニ從ヒ千位及萬位ニ(,)ヲ附ス

(5) 表中掲載スヘキ事實ナキモノハ(一)ヲ附シ事實不詳又ハ調査未了ノモノハ(?)ヲ記シ計數ノ一位ニ滿タサルモノハ(0)ヲ填充ス

大正十一年六月

奈良縣庶務課

## 概 説

## 第 一 土 地

位 置 本縣ハ畿内ノ東南部ニ位シ大和全國(十郡一市)ヲ管轄ス東ハ三重縣ニ境シ西ハ大阪府ニ隣リ南ハ和歌山縣ニ境シ北ハ京都府ニ接ス東經百三十五度三十三分ヨリ起リ百三十六度十二分ニ至リ北緯三十三度五十二分ヨリ三十四度四十七分ニ至ル

勢 南北ニ長ク東西ニ狭ク山嶽四面ヲ圍繞シテ北方僅ニ開通ス東ハ三國山、高見山大臺ケ原山、備後山、ノ群峰ヲ隔テ、伊賀、伊勢、紀伊ニ境シ南ハ峻嶺相重リテ紀伊ノ諸嶽ト交叉シ西ハ金剛、葛城、信貴、生駒ノ連山起伏シテ河内ノ國界ヲ畫ス

嶽及河川 山嶽ノ大ナルモノハ七面山、佛經嶽、彌山、釋迦ケ嶽、大臺ケ原山、國見嶽等ニシテ何レモ南方ニ巍峨屹立ス。河川ハ飛鳥、富雄、龍田、葛城其ノ他數多ノ小川合流シテ大和川トナリ西流シテ河内、和泉ノ兩國ヲ經テ海ニ入ル、宇陀川ハ宇陀郡ニ發シ伊賀國ヲ經テ名張川ト爲リ再ヒ迤ニ北部ヲ匯リテ山城國ニ赴ク、吉野川ハ源ヲ大臺ケ原山ニ發シ中央ヲ串流シテ紀ノ川トナリ海ニ至ル又十津川、北山川ハ其ニ吉野郡ノ山間ニ發シ紀伊國ヲ過キテ南海ニ注ク、河流概ネ急湍ニシテ吉野川ヲ除ク外舟楫ノ利ヲ缺キ時ニ汎濫ノ憂アリト雖モ吉野川、十津川、北山川ハ何レモ流筏ノ便アリテ木材輸出上利便少ナカラス

面積 本縣ハ東西十六里十二町、南北二十六里一町、面積二百四十一方里餘ニ亘リ畿内五國中最大ナルモノナリトス而シテ其ノ九割三分二厘ハ民有有租地ニシテ免租地及年期地ハ一分六厘ニ相當シ爾餘ノ六分六厘ハ官有地ナリトス更ニ之レヲ郡市別ニ觀察スルトキハ郡ノ最大ナルモノハ吉野郡ニシテ其ノ面積實ニ本縣ノ六割〇二厘強(百四十五方里六六)ヲ占メ其ノ他宇陀、山邊、生駒、添上、磯城等ノ各郡順次之レニ亞キ奈良市ノ一方里六分七厘ヲ最小トス

地質 本縣ノ地質ハ錯雜混入スレトモ之レヲ分類スレハ南半ハ大部分古生層ニシテ中生層ハ其ノ南端ノ一部ヲ占メ北半ハ火成岩ヨリ成ル、地質ニハ花崗岩、安山岩アリ水成岩層中ニハ片麻岩、第三紀、第四紀層アレトモ第四紀層ハ概ネ農耕地トナリ森林地ハ片麻岩層ノ地多ク之レニ次テハ第三紀層ナリトス、其ノ他ノ地層ハ是等ノ間ニ介在シテ小面積ノ地ヲ占ムルノミ

交通 國道十五號線ハ奈良ニ起リ北方山城ノ國ニ通ス延長一里二町九間、縣道ハ六十三路線延長百六十九里二十六町十七間ニシテ郡道ハ其數百九、延長百五十二里三町二十二間三分ニ達ス鐵道ハ大阪ヨリ河内ニ通シ王寺ニ至リテ分岐シーハ奈良ヲ經テ名古屋市ニ至リ一ハ高田、櫻井、奈良ヲ經テ京都市ニ達ス又一ハ高田ヨリ五條ヲ經テ和歌山市ニ通シ其ノ他吉野輕便鐵道ハ南葛城郡ノ吉野口ニ起リ吉野郡ノ吉野ニ至リ長谷輕便鐵道ハ櫻井ヨリ起リ初瀬ニ通シ天理輕便

鐵道ハ丹波市ヨリ法隆寺ニ通シ又大阪電氣軌道ハ大阪市ヲ起點トシ河内國ヲ通シ生駒山ヲ貫通シテ奈良市ニ達スル等貨物ノ運輸交通ノ便略ホ備ハレリ

**著名ノ郡邑** 本縣ニ於ケル市街地トシテ最モ著名ナルハ奈良市（縣廳所在地）ニシテ人烟稠密縣下第一ノ都會タリ奈良ハ本邦最古ノ帝都トシテ又有名ナル奈良公園春日山ノ所在地トシテ夙ニ人口ニ膾炙シ土地亦閑雅ニシテ名所舊蹟ニ富ミ殊ニ京阪ノ中樞ニ當レルヲ以テ益々隆盛ヲ見ルニ至レリ、其ノ他千戸以上ノ市街地トシテハ郡山、高田、丹波市、五條、下市、大淀、櫻井、御所、櫛本、榛原ノ各地ニシテ順次之レニ亞キ千戸以下ニ在リテハ八木、今井、龍田、初瀬、三輪、生駒、高取、上市、田原本、松山等ナリトス

**民業及物産** 民業ハ農耕業ヲ主トシ山地ニ在ルモノハ林業ヲ兼ネ又市街地ニ在ルモノハ専ラ商工業ニ從事シ及養蠶製茶ヲ業トスルモノ尠カラス物産ノ重ナルモノハ米、綿糸紡績、織物、用材、麥、繭、酒類（以上産出價額五百萬圓以上）賣藥、桑葉、蠶糸類眞綿、莫大小、醬油、下駄及其他履物類、凍豆腐、家畜肉、薪炭材、製茶（以上百萬圓以上）鈕釦類、木炭、墨、筆、産卵、甘藷、青芋、柿、靴、金屬器、梨、瓦類、（以上五拾萬圓以上）等ニシテ其ノ生産總額壹億貳千九百七拾七萬七千七百五圓、（一戸當壹千貳百拾七圓）ナリトス今之ヲ前年ニ對比スレハ總額ニ於テ四千四百八拾貳萬壹千四拾壹圓、一戸當ニ於テ四百貳拾四圓ヲ減セリ是レ數年來歐洲戰亂ノ餘波ヲ受ケ益々昂騰ヲ持續シ來リシ一般物價ノ戰亂終熄ト共ニ漸次安定ノ機運ニ向ヒ殊ニ本年ニ至リテハ米價其他ニ於テ頓ニ低落ヲ見ルニ至リシ結果ニシテ其ノ他素麵、葛粉、奈良漬、香魚、錦魚等ハ産額多カラスト雖モ著名ナルモノナリ

## 第 二 戸 口

**人 口** 大正九年十二月末現在ニ於ケル現在人口ハ男二十九萬五千五百六十一人女二十九萬五千二十四人、計五十九萬五百八十五人ニシテ本籍人口六十六萬四千二百六十五人ニ比シ七萬千六百八十人少シ其ハ近時人口ノ都會ニ集注スルモノ多キヲ加ヘタル爲メニシテ就中大阪京都、東京、兵庫、三重等ノ各地ヘ移住スルモノ最モ多シ今現住人口ヲ全面積二百四十一方里八分四厘ニ割當ツルトキハ平均一方里二千四百四十二人ニシテ更ニ之レヲ各郡市ニ分チ掲載スレハ次表ノ如シ

平均一方里現住人口郡市比較

郡	市	面積	現 住 人 口			面積一方里ニ付現住人口
			男	女	計	
添	上	11.95	21,236	21,361	42,597	3,565
生	駒	12.16	35,311	36,058	71,369	5,869
山	邊	12.62	20,064	20,176	40,240	3,189
磯	城	9.94	37,323	37,781	75,104	7,556

郡	市	面 積	現 住 人 口			面積一方里ニ 付現住人口
			男	女	計	
宇	陀	25.85	20,060	19,896	39,946	1,992
高	市	5.16	22,161	22,523	44,684	8,660
北	葛 城	6.58	34,348	35,559	69,907	10,624
南	葛 城	4.34	16,484	16,531	33,015	7,607
宇	智	5.91	13,193	13,452	26,645	4,508
吉	野	145.66	54,487	51,537	106,024	728
奈	良	1.67	20,904	20,150	41,054	24,583
總	計	241.84	295,561	295,024	590,585	2,442

本表ニヨリテ之レヲ觀ルニ平均一方里ノ人口トシテ最密ナルハ奈良市ノ二萬四千五百八十三人ニシテ北葛城、高市、南葛城、磯城、生駒、宇智、添上、山邊ノ各郡順次之レニ亞キ最疎ナルハ吉野ノ七百二十八人、宇陀ノ一千九百九十二人ナリトス之レヲ要スルニ本縣ニ於ケル人口ノ分布ハ西北部ノ平坦ニ於テ稠密ニシテ東南部殊ニ南方山間ニ進ムニ從ヒ漸次稀薄トナルモノトス蓋シ本縣ハ奈良市ノ如キ市街地ヲ除クノ外ハ農耕業ヲ以テ生業トスルモノ多キカ故ニ吉野、宇陀ノ如キ山地ヨリ比較的耕作ニ利便ナル北葛城、高市、磯城ノ諸郡ニ集合スルモノナルヘシ

戸 數 大正九年十二月末現在戸數ハ十萬六千六百七十一戸ニシテ一戸ノ平均人口ハ五人五分四厘ニ相當シ全國ノ四人九分九厘ナルニ比シ稍多數ナリ今之レヲ前年末ニ比較スレハ三百二戸ヲ増シ更ニ之レヲ五年前(大正三年末現在)ニ比較スレハ七百六十三戸ノ増加ナリトス數年前ニ比シ比較的多數ノ増加ヲ示セルハ主トシテ綿密ナル調査ヲ行ヒタル爲ニシテ何等特殊ノ事項アルヲ認メス

### 第 三 教 育

學 齡 兒 童 大正九年度末ニ於ケル學齡兒童ノ總數ハ男五萬八千六百三十二人、女五萬六千二十二人計十一萬四千六百五十二人ニシテ前年度ニ比シ男四百四十三人、女四百六十人、計九百三人ヲ増加セリ而シテ既ニ就學ノ始期ニ達シタル兒童百人中就學歩合ハ男九十九人五分三厘、女九十九人五分ニシテ前年度ニ比シ平均數三厘ヲ減ス學齡兒童中不就學ハ男二百四十人、女二百四十五人、計四百八十五人ニシテ前年度ニ比シ四十人ヲ減少セリ、要スルニ兒童ノ就學竝ニ出席ニ關シテハ從來發布シタル縣令、訓令其ノ他ノ法規ニ依リ督勵ヲ怠ララスト雖モ未タ全ク良好ノ域ニ達セサルノ感アルハ遺憾トスル所ナリトス今最近十ケ年間ノ就學始期既達者百中ノ就學歩合ヲ舉クレハ次ノ如シ

就學始期既達百中就學者歩合小學校

年 次	男	女	平 均	指 數
明治四十四年度	99.73	99.62	99.67	100.00

年 次	男	女	平 均	指 數
大 正 元 年 度	99.57	99.50	99.54	99.87
同 二 年 度	99.62	99.44	99.55	99.88
同 三 年 度	99.59	99.54	99.57	99.90
同 四 年 度	99.53	99.48	99.51	99.84
同 五 年 度	99.53	99.40	99.47	99.80
同 六 年 度	99.58	99.51	99.55	99.88
同 七 年 度	99.62	99.55	99.59	99.92
同 八 年 度	99.49	99.44	99.55	99.88
同 九 年 度	99.53	99.50	99.52	99.85

小 學 校 大正九年度末ニ於ケル市町村立小學校數ハ尋常小學校百八十三校尋常高等小學校百六十二校、高等小學校十四校、計三百五十九校ニシテ尋常小學校ニ於テ三校減少シタルモ尋常高等小學校ニ於テ二十六校、高等小學校ニ於テ三校總數ニテ二十六校ヲ増加セリ、學級數ハ尋常千六百二十四、高等二百六十八、總計千八百九十二ニシテ前年度ニ比シ三十七ヲ増加セリ、教員數ハ本科正教員男千二百六十三人、女三百五十七人、計千六百二十人、專科正教員男九人、女九十九人、計百八十八人、准教員男六十二人、女九人、計七十一人、代用教員男百三十七人、女百九十七人、計三百三十四人、總數二千百三十三人ニシテ前年度ニ比シ五十七人ヲ増加セリ

小學校兒童ハ尋常科男四萬三千五百八十五人、女四萬一千四百七十四人、計八萬五千五十九人高等科男七千四十八人、女四千二百九十二人、計一萬一千三百四十人、總數九萬六千三百九十九人ニシテ現住人口百人ニ付兒童數十六人三分二厘トス

諸 學 校 本縣ニ於ケル小學校ヲ除ク學校ハ總計三百七十二校ニシテ其學校別明細ハ次ノ如シ

各種學校教員生徒卒業者

種 別	校 數	教 員	生 徒	卒 業 者
縣 立 師 範 學 校	2	31	426	127
縣 立 中 學 校	3	65	1,566	222
縣 立 高 等 女 學 校	1	23	591	157
縣 立 實 業 學 業	2	27	357	118
市町村立實科高等女學校	2	29	562	125
乙種程度實業學校	12	73	2,003	555
市町村立實業補習學校	286	25	14,361	3,188
其他ノ各種學校	64	113	3,688	1,590

本表中 教員數ニハ兼務者生徒以下ニハ別科並ニ豫科ヲ包含セス

本縣ニ於ケル師範學校生徒ヲ人口ニ比例スルトキハ現住人口一萬人ニ付七人二分一厘中學校生徒ニテハ同上三十六人二分二厘高等女學校ニテハ同上十九人五分二厘實業學校ニテハ同上六八四厘ニシテ要スルニ中等學校程度ノ生徒トシテ人口一萬人ニ對シ六十九人ヲ示セリ以テ中等教

育ノ漸次進歩セル狀況ノ一斑ヲ知ルニ足ルヘシ

公 學 費 大正九年度中教育事業施設經營ノ爲メ要シタル經費總額ハ貳百八拾四萬壹千七拾九圓ニシテ之ヲ區別スレハ縣公學費四拾六萬五千貳百拾九圓、郡公學費拾貳萬百拾參圓、市町村公學費貳百貳拾五萬五千七百四拾七圓ナリトス。而シテ地方費ニ對スル割合ヲ見ルニ縣公學費ハ縣費總額ノ一割七分八厘、郡公學費ハ郡費總額ノ三割二分二厘、市町村公學費ハ市町村費總額ノ四割二分九厘ニシテ如何ニ教育ノ普及ニ多大ノ力ヲ致セルカヲ知ルヘシ

## 第 四 社 寺

本縣ニ於ケル神社ハ官幣社十、縣社七、郷社三十七、村社一千百三、無格社四百三、招魂社一計千五百六十一社ニシテ寺院ハ真宗六百三十一、真言宗三百二十一、淨土宗三百四十四、融通念佛宗百九十九、曹洞宗七十七、其ノ他百二十五、計一千六百九十七ナリ之レヲ前年ニ比スルニ神社ニ於テ三、寺院ニ於テハ二ヲ減シタリ今之レカ累年比較ヲナスニ次ノ如シ

神社及寺院數累年比較

年 次	社			寺 院		
	總 數	一市町村ニ付神社數	一神社ニ付戸數	總 數	一市町村ニ付寺院數	一寺院ニ付戸數
大 正 九 年	1,561	10.07	68.34	1,697	10.95	62.86
同 八 年	1,564	10.09	68.01	1,699	10.96	62.61
同 七 年	1,536	9.91	69.21	1,664	10.74	63.88
同 六 年	1,524	9.95	94.43	1,819	11.81	66.66
同 五 年	1,534	9.96	68.96	1,819	11.81	58.16
同 四 年	1,567	10.11	67.59	1,812	11.69	58.45
同 三 年	1,582	10.21	65.84	1,811	11.68	57.51
同 二 年	1,616	10.49	62.29	1,810	11.75	54.07
同 元 年	1,619	10.51	60.45	1,810	11.75	54.07
明 治 四 十 四 年	1,635	10.69	58.46	1,809	11.82	52.84

又社寺ノ建造物及ヒ寶物ニシテ古社寺保存法ニ依リ特別保護建造物及國寶ニ指定セラレタルモノ他府縣ニ比シ比較的多數ヲ占メ殊ニ當代美術ノ代表的作物モ亦尠ナカラス何レモ年々國費ノ補助ヲ受ケ修理セラレツ、アリ

## 第 五 慈 惠 及 褒 賞

慈惠救濟資金 本縣ニ於ケル慈惠救濟資金ハ大正九年度ニ於テハ拾貳萬參千參百四拾七圓ニシテ之レニ對スル歳入ハ壹萬五千九百五拾壹圓、歳出ハ八千七百五圓ナリトス而シテ之レカ經費ハ主トシテ部落改善費、代用感化院費育兒院及養老院補助ニ充當セルモノナリ

**慈善的團體** ハ總數五ニシテ内感化事業ニ屬スルモノ一、免囚保護事業ニ屬スルモノ一、育兒事業ヲ目的トスルモノ二、養老兼育兒事業ヲ目的トスルモノ一ナリ何レモ當事者ノ熱心ニ依リ經營ノ歩ヲ進メツ、アルモ未タ其ノ成績トシテ特記スヘキモノナシ

**日本赤十字社及愛國婦人會** ノ事業ハ本縣ニ於テハ各支部ニ依リテ經營セラル即チ日本赤十字社奈良支部並ニ愛國婦人會奈良支部ハ共ニ奈良市登大路町ニアリテ縣下十郡一市ヲ管轄ス大正九年未ニ於ケル赤十字社員總數二萬二千三百五十三人ニシテ前年ニ比シ六百十一人ヲ増加シタリ又愛國婦人會員ハ一萬六百七十人ニシテ前年ニ比シ四百七十八人ヲ増加セリ

**褒賞人員** 本年ニ於ケル褒賞人員ハ總數二百九十八人ニシテ内木杯ヲ賜ヒシモノ七十人、褒狀ヲ賜ヒシモノ二百二十八人ナリトス而シテ悉ク之レ金穀財産等ヲ寄附セシモノニシテ前年ニ比スレハ五千六百二十六人ヲ減シ五年前（大正四年）ニ比スレハ五人ヲ減セリ

## 第 六 警 察

**警察官署** 本縣ノ警察官署ハ警察部ヲ除クノ外警察署十一、警察分署七、巡查派出所八、巡查駐在所百九十三ナリトス大正九年未ニ於ケル職員ノ數ハ警察部長一人、技師四人、警視二人、警部二十七人、警部補十五人、技手十六人、巡查四百二十二、其他五十人、計五百三十七人ニシテ巡查一人ニ對スル戸數二百六十二、人口千三百六十三ノ割合ナリ

**檢舉犯罪事件** ハ前年ニ比シ現行犯準現行犯人員ニ於テ三百九十七、非現行犯人員ニ於テ四百二十五、更ニ自首ニ於テ一、何レモ減少セリ、是レ最モ喜ハシキ現象ナリトス

**消防組** ハ前年ニ比シ四十七ヲ減シタルモ人員ニ於テ百五十八ヲ加ヘ漸次内容ノ充實ヲ圖リツ、アリ

## 第 七 裁 判 及 登 記

**民事訟訴件數** 大正九年ニ於ケル民事第一審訟訴件數ノ總數一千七百四十九ニシテ内判決ニヨルモノ三百三十九、取下其他ノモノ一千二十九、未決ノモノ三百八十一ナリトス今結果事件一千三百六十八ニ對スル種類別ヲ舉クレハ雜事六百十三、金錢六百十一、人事四十二、建物船舶三十三、米穀三十、物品二十、土地十七、證券二ニシテ既往數年間ノ事實ニ對照スルニ毎年其ノ數ヲ増加シツ、アルノ狀況ナリ

**不動産登記** 本年中奈良地方裁判所管内ニ於ケル不動産登記件數ハ總數四萬七千百十五、箇數二十一萬七千百四十一、登録稅五拾壹萬五千四百五拾壹圓ニシテ五年前（大正四年）ニ比スレハ件數ニ於テ三百三十五、箇數ニ於テ三萬六千二百六十九、登録稅ニ於テ參拾參萬壹千六百九拾五圓ヲ増加シ又十年前（明治四十四年）ニ比スレハ件數ニ於テ三千九百五十一ヲ減シ箇數ニ於テ



二萬二千八百四十一、登録税ニ於テ參拾參萬四千五百九拾九圓ヲ増加セリ今累年比較ヲ舉クレハ次ノ如シ

不動産登記件數及登録税比較

年 次	件 數	箇 數	登 録 税	指 數
明 治 四 十 四 年	51,066	194,300	180,852	100
大 正 元 年	53,289	193,978	208,584	115
同 二 年	50,326	188,242	201,536	111
同 三 年	48,748	180,220	185,891	103
同 四 年	46,780	180,872	183,756	102
同 五 年	48,443	206,555	202,137	112
同 六 年	43,476	185,170	212,598	118
同 七 年	44,920	186,256	242,604	134
同 八 年	52,101	221,902	439,589	243
同 九 年	47,115	217,141	515,451	285

第 八 衛 生

醫療機關 トシテハ醫師三百二十九、齒科醫四十三、計三百七十二人ニシテ現住人口一千五百八十八人ニ對シ醫師一人ノ割合ナリ又産婆ハ四百五人、鍼灸術者二百九人、藥劑師四十一人等ナリトス産婆一人ニ對スル生産數五十八人九厘、死産數四人一分四厘ノ割合ニシテ之レヲ郡市ニ比較スレハ醫師ノ數人口ニ比シ割合ニ多キハ奈良市ニシテ最モ少ナキハ添上郡ナリトス又産婆ノ數生産數ニ比シ最多ナルハ奈良市ニシテ最少ナルハ吉野郡ナリトス

各種傳染病 本年ノ各種傳染病ハ之ヲ前年ニ比スレハ總數ニ於テ四百四十六人ノ増加ヲ見タリ即チ腸窒扶斯ニ於テ前年三百九十二人ナリシカ本年ハ五百十二人ニ増加シタルト痘瘡カ前年二十一人ナリシニ本年百四十九人ノ多キニ達シタルト虎列刺ニ於テ本年百八十七人ノ新患者ヲ出セルカ如キ是レナリ然レトモ近年概シテ傳染病ノ甚シキ流行ヲ見サルハ當局者カ常ニ種痘ノ普及ヲ期スルト共ニ病原ノ撲滅ト清潔法其ノ他豫防法ノ實施ニ努メタル結果ニ基因スルハ勿論ナリト雖モ亦以テ公衆衛生ニ對スル縣民ノ思想カ漸次向上シツ、アルヲ證スルニ足ル

病死者ノ數 本年中本縣管内ニ於ケル病死者ノ總數一萬三千四十四人ニシテ人口千人ニ付二十四人八分七厘ノ割合ナリトス之レヲ病類別ニ區別スルトキハ最多ナルハ傳染性病及全身病ニシテ三千二百二十八人ナルヲ示シ之レニ次クモノハ呼吸器疾患ノ二千七百三十五人、消化器ノ疾患二千四百四十一人、神經系ノ疾患一千八百九十七人、畸形及幼年ノモノ一千四百九十七人、更ニ一千以下ニ在リテハ老年八百十八人、泌尿及生殖器ノ疾患六百四十九人、血行器ノ疾患五百三十八人、不明ノ診斷及不詳ノ原因ニ依ルモノ四百六十一人、外因ニ依ルモノ三百二人、其ノ他二百九十二人ニシテ最少ナルハ皮膚及運動器ノ疾患七十人、妊娠及産ニ依ルモノ六十人ナリトス

今現在人口千ニ對スル死亡者並ニ死亡者百人ニ對スル病類別比例ヲ擧クレハ次ノ如シ

現住人口千人中死亡人員

病 類	大正九年	大正八年	大正七年	大正六年	大正五年	大正四年	大正三年	病 類	大正二年	大正元年	明治十四年
傳染性病及全身病	5.47	4.16	5.17	3.44	3.45	3.26	3.22	傳染性病	0.56	0.43	0.66
神經系ノ疾患	3.21	2.91	3.15	2.80	2.77	2.68	3.06	發育及營養的病	3.17	3.20	3.26
血行器ノ疾患	0.91	0.84	1.07	0.89	0.96	0.89	1.03	皮膚及筋病	0.49	4.43	0.52
呼吸器ノ疾患	4.63	3.73	5.45	3.17	3.07	2.80	2.67	骨及關節病	0.32	0.28	0.29
消化器ノ疾患	3.63	3.70	4.34	3.88	3.79	3.64	4.09	血行器病	1.01	1.42	1.41
泌尿及生殖器	1.10	0.99	1.12	0.96	0.97	0.73	0.95	神經系及五官病	3.79	2.98	2.88
妊娠及産	0.10	0.06	0.09	0.09	0.11	0.10	0.17	呼吸器病	3.95	3.72	3.94
皮膚及運動器ノ疾患	0.12	0.12	0.16	0.15	0.15	0.15	0.26	消化器病	4.95	5.13	5.41
畸形及幼年	2.53	2.29	2.48	2.42	2.09	1.93	1.76	泌尿及生殖器病	0.78	0.90	0.92
老年	1.39	1.20	1.43	1.29	1.37	1.06	1.02	外襲性變死	0.61	0.56	0.50
外因ニ依ル死	0.51	0.55	0.54	0.63	0.54	0.52	0.59	中毒症	0.05	0.07	0.08
不明ノ診斷及不詳ノ原因	0.78	0.72	1.03	0.64	0.72	0.86	0.69	原因不詳	0.23	0.27	0.35
其他	0.49	0.51	0.58	0.43	0.40	0.39	0.42				
總 計	24.87	21.80	26.61	23.75	23.13	18.20	19.33	總 計	19.36	19.39	20.22
呼吸器病ノ内肺結核	2.73	2.20	3.21	0.92	0.90	0.82	0.86	呼吸器病ノ内肺病	1.50	1.19	1.38

死亡者中病類別比例

病 類	大正九年	大正八年	大正七年	大正六年	大正五年	大正四年	大正三年	病 類	大正二年	大正元年	明治十四年
傳染性病及全身病	21.98	19.07	19.45	16.52	17.09	17.22	16.21	傳染性病	2.88	2.21	3.20
神經系ノ疾患	12.91	13.37	11.84	12.68	13.72	14.43	15.40	發育及營養的病	16.36	16.50	16.13
血行器ノ疾患	3.66	3.84	4.02	4.23	4.75	4.70	5.18	皮膚及筋病	2.53	2.23	2.59
呼吸器ノ疾患	18.62	17.10	20.48	15.23	15.21	14.72	13.44	骨及關節病	1.66	1.44	1.44
消化器ノ疾患	14.58	16.97	16.31	18.63	18.77	19.13	20.56	血行器病	7.18	7.33	6.97
泌尿及生殖器	4.42	4.57	4.19	4.63	4.32	3.85	4.75	神經系及五官病	15.46	15.37	14.69
妊娠及産	0.41	0.27	0.35	0.45	0.57	0.49	0.87	呼吸器病	19.59	19.19	19.47
皮膚及運動器ノ疾患	0.48	0.56	0.60	0.75	0.40	0.81	1.01	消化器病	25.59	26.44	26.74
畸形及幼年	10.19	10.52	9.31	11.53	10.47	10.13	8.85	泌尿及生殖器病	4.05	4.64	4.57
老年	5.57	5.52	5.38	6.22	5.79	5.53	5.13	外襲性變死	3.14	2.88	2.47
外因ニ依ル死	2.06	2.54	2.02	3.05	2.65	2.75	2.97	中毒症	0.26	0.38	0.39
不明ノ診斷及不詳ノ原因	3.14	3.31	3.86	3.09	3.56	4.50	3.46	原因不詳	1.17	1.39	1.34
其他	1.98	2.35	2.19	2.09	2.00	2.07	2.13				
總 計	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	總 計	100.00	100.00	100.00
呼吸器病ノ内肺結核	11.00	10.10	12.07	4.46	4.45	4.27	4.31	呼吸器病ノ内肺病	7.73	6.13	6.85

第 九 財 政

經 費 大正九年度ニ屬スル國庫支出ノ縣經費總額ハ五拾九萬五千四百四圓ニシテ内經常部參拾貳萬四千七百四拾七圓、臨時部貳拾七萬六百五拾七圓ナリトス之レヲ前年度ニ對照スルニ經

常部ニ於テ參千九百四拾貳圓、臨時部ニ於テ拾參萬九千七百八拾六圓ヲ何レモ増加セリ、大正九年度所屬本縣費歳入總計決算額ハ貳百九拾壹萬五百五拾參圓、歳出ハ貳百六拾萬八千九百貳拾四圓ニシテ之レヲ前年ニ對比スルニコレ亦歳入ニ於テ七拾萬八百五拾四圓、歳出ニ於テ七拾八萬壹千七百貳拾四圓ノ増加ヲ見タリ、今之レヲ經常臨時ノ各部ニ分テ既往十ケ年間ヲ比較對照スレハ次ノ如シ

縣 歳 入 出 累 年 比 較

年 次	歳 入				歳 出			
	經 常	臨 時	計	指 數	經 常	臨 時	計	指 數
明 治 四 十 四 年 度	1,021,005 <sup>円</sup>	235,172 <sup>円</sup>	1,256,177 <sup>円</sup>	100	678,035 <sup>円</sup>	339,831 <sup>円</sup>	1,017,866 <sup>円</sup>	100
大 正 元 年 度	992,460	260,218	1,252,678	100	682,457	367,388	1,049,845	103
同 二 年 度	943,584	261,965	1,205,549	96	662,204	313,309	975,513	96
同 三 年 度	840,347	260,848	1,101,195	88	636,774	325,437	962,211	95
同 四 年 度	923,197	165,036	1,088,233	87	709,377	255,076	964,453	95
同 五 年 度	1,005,632	142,495	1,148,128	91	722,382	181,995	904,377	89
同 六 年 度	1,164,232	278,526	1,442,758	115	738,376	303,715	1,042,091	102
同 七 年 度	1,410,803	106,367	2,017,170	161	1,099,673	675,967	1,775,640	175
同 八 年 度	1,703,715	505,984	2,209,699	176	1,252,044	575,156	1,827,200	180
同 九 年 度	2,282,052	628,501	2,910,553	232	1,857,168	751,756	2,608,924	256

本表中ニハ特別經濟ニ屬スルモノハ包含セス

大正九年度ニ屬スル郡經費決算竝ニ同八年度市町村經費決算額ヲ比較スルニ

郡	歳入 四拾貳萬壹千拾六圓	市町村	歳入 六百貳萬八千八百壹圓
	歳出 參拾七萬參千參百拾九圓		歳出 五百貳拾六萬壹千九百五圓

ニシテ之レヲ前年度ニ對比スルトキハ郡ノ歳入ニ於テ貳拾參萬貳千五百六拾貳圓、同歳出ニ於テ貳拾萬壹千參百貳拾參圓、市町村ノ歳入ニ於テ九拾四萬六千貳百五圓、同歳出ニ於テ七拾壹萬壹千四百七拾參圓ヲ増加セリ今既往十ケ年間ヲ對照スレハ次ノ如シ

郡 市 町 村 歳 入 歳 出 累 年 比 較

年 次	歳 入				歳 出			
	郡	指 數	市 町 村	指 數	郡	指 數	市 町 村	指 數
明 治 四 十 四 年 度	123,845 <sup>円</sup>	100	2,220,353 <sup>円</sup>	100	112,136 <sup>円</sup>	100	2,022,667 <sup>円</sup>	100
大 正 元 年 度	117,906	95	2,132,367	96	102,112	91	1,922,633	95
同 二 年 度	123,657	100	2,146,944	97	108,432	97	1,940,494	96
同 三 年 度	123,660	100	2,064,624	93	107,181	96	1,872,390	93
同 四 年 度	122,367	99	2,012,677	91	106,050	95	1,804,029	89
同 五 年 度	115,851	94	2,332,257	105	103,862	93	1,911,783	95
同 六 年 度	138,739	112	2,284,053	103	124,401	111	1,923,494	95
同 七 年 度	145,325	117	3,588,383	162	130,366	116	2,999,952	148
同 八 年 度	188,454	152	5,082,596	229	171,996	153	4,550,432	225
同 九 年 度	421,016	340	6,028,801	272	373,319	333	5,261,905	260

諸 税 負 擔 { 大正九年度國稅總額ハ四百七萬六千四百七拾五圓ニシテ内直接國稅ニ屬スルモノ百九拾四萬五千九百五拾貳圓トス之レヲ前年度ニ比較スレハ總額ニ於テ拾五萬九千八百七拾九圓ヲ減シ直接國稅ニ於テ壹萬壹千九百四拾八圓ヲ減セリ大正九年度縣稅總額ハ貳百八萬四千九百四拾八圓ニシテ之レヲ前年度ニ比較スレハ五拾參萬六千貳百拾壹圓ヲ増シ又市町村稅額ハ四百五萬七千九百參拾七圓ニシテ前年ニ比シ百貳拾參萬九千五百參圓ヲ増加セリ今既往十ケ年間ノ稅額ヲ比較スレハ次表ノ如シ

諸 税 負 擔 累 年 比 較

年 次	總 額				現 住 一 戶 當 負 擔 額				
	直接國稅	縣 稅	市町村稅	計	直 國	接 稅	縣 稅	市 村 町 稅	計
明 治 四 十 四 年 度	1,394,866	933,870	1,302,001	3,630,737	14.59	9.76	13.62	37.97	
大 正 元 年 度	1,441,686	889,297	1,355,141	3,686,124	14.73	9.09	13.85	37.67	
同 二 年 度	1,446,105	868,217	1,378,287	3,692,609	14.37	8.63	13.69	36.69	
同 三 年 度	1,431,607	763,903	1,341,409	3,536,919	13.74	7.33	12.88	33.95	
同 四 年 度	1,341,540	832,908	1,355,805	3,510,253	12.67	7.86	12.61	33.14	
同 五 年 度	1,345,196	911,619	1,432,661	3,689,476	12.72	8.62	13.54	34.88	
同 六 年 度	1,435,978	1,055,051	1,669,457	4,160,486	13.59	9.98	15.80	39.37	
同 七 年 度	1,632,034	1,285,257	2,000,299	4,917,590	15.35	12.09	18.82	46.26	
同 八 年 度	1,957,900	1,548,737	2,818,434	6,325,071	18.41	14.56	26.49	59.46	
同 九 年 度	1,945,952	2,084,948	4,057,937	8,088,837	18.24	19.55	38.04	75.83	

年 次	現 住 一 人 當 負 擔 額				指 數				
	直接國稅	縣 稅	市町村稅	計	直 國	接 稅	縣 稅	市 村 町 稅	計
明 治 四 十 四 年 度	2.37	1.58	2.21	6.16	100	100	100	100	
大 正 元 年 度	2.44	1.51	2.30	6.25	103	96	104	101	
同 二 年 度	2.42	1.42	2.31	6.15	102	90	105	100	
同 三 年 度	2.37	1.27	2.22	5.86	100	80	100	95	
同 四 年 度	2.21	1.37	2.20	5.78	93	87	100	94	
同 五 年 度	2.19	1.49	2.33	6.01	92	94	105	98	
同 六 年 度	2.33	1.71	2.71	6.75	98	108	123	110	
同 七 年 度	2.76	2.17	3.38	8.31	116	137	153	135	
同 八 年 度	3.27	2.59	4.71	10.57	138	164	213	172	
同 九 年 度	3.29	3.53	6.87	13.69	139	223	311	222	

重要統計平均數概覽表

種 別	實 數		平 均 數					
	全 國	本 縣	全 國	本 縣				
面 積	24,996.00 <sup>方里</sup>	241.84 <sup>方里</sup>	一市町村=付 2.04 <sup>方里</sup>	1.56 <sup>方里</sup>				
民 有 租 地	15,286,246 <sup>町</sup>	185,933 <sup>町</sup>	{ 一市町村=付 { 1,250 <sup>町</sup>	1,200 <sup>町</sup>				
			{ 戶數一戶=付 { 1.36 <sup>町</sup>	1.74 <sup>町</sup>				
地 價	1,933,397,849 <sup>円</sup>	22,615,422 <sup>円</sup>	{ 一市町村=付 { 158,074 <sup>円</sup>	145,906 <sup>円</sup>				
			{ 段別一町步=付 { 126 <sup>円</sup>	122 <sup>円</sup>				
現 住 戶 數	55,963,053 <sup>人</sup>	590,585 <sup>人</sup>	面積一方里=付 2,239 <sup>人</sup>	2,442 <sup>人</sup>				
	11,222,053 <sup>戸</sup>	106,671 <sup>戸</sup>	戶數一戶=付人口 4.99	5.54				
學 齡 兒 童	9,736,358 <sup>人</sup>	114,652 <sup>人</sup>	人口百人=付 16.76	19.41				
就 學 兒 童	8,257,916	99,617	就學始期既達者百中 { 就學 94.43 不就學 5.57	99.52				
不 就 學 兒 童	95,201	485		0.48				
小 學 校	25,625 <sup>校</sup>	359 <sup>校</sup>	一市町村=付 2.09 <sup>校</sup>	2.32 <sup>校</sup>				
小 學 校 教 員	172,979 <sup>人</sup>	2,133 <sup>人</sup>	一學校=付教員 6.75 <sup>人</sup>	5.94 <sup>人</sup>				
小 學 校 兒 童	8,137,347	96,931	{ 一學校=付 318	270				
			{ 一教員=付 47	45				
市 町 村 公 學 費	98,490,687 <sup>円</sup>	2,255,747 <sup>円</sup>	一學校=付 3,844 <sup>円</sup>	6,283 <sup>円</sup>				
神 社 (境外無格社ヲ除ク)	49,440 <sup>社</sup>	1,158 <sup>社</sup>	一市町村=付 4.04 <sup>社</sup>	7.37 <sup>社</sup>				
寺 院 (境外佛堂ヲ除ク)	71,626 <sup>寺</sup>	1,697 <sup>寺</sup>	一市町村=付 5.85 <sup>寺</sup>	10.90 <sup>寺</sup>				
醫 師	45,444 <sup>人</sup>	329 <sup>人</sup>	人口一萬人=付 7.82 <sup>人</sup>	5.57 <sup>人</sup>				
刑 法 其 他 諸 犯 則 人 員	853,447	8,058	一市町村=付 69.74	51.99				
府 縣 歲 出 額	195,704,946 <sup>円</sup>	2,608,924 <sup>円</sup>	{ 一府縣=付 4,254,455 <sup>円</sup>	2,608,924 <sup>円</sup>				
郡 歲 出 額	14,835,319	373,319	{ 現住戶數一戶=付 18.69	24.46				
			{ 一府縣=付 322,513	373,319				
			{ 一郡=付 26,398	37,332				
町 村 歲 出 額	188,360,711	4,972,585	一町村=付 15,475	32,501				
町 村 基 本 財 產 額	185,454,998	2,329,008	{ 戶數一戶=付 18.09	22.04				
			{ 一町村=付 15,202	15,123				
貢 擔	直接國稅 325,286,510	1,945,952	國 稅 5.78	3.29				
					府 縣 稅 146,322,229	2,084,948	=付 { 府 縣 稅 2.60	3.53
郵 便 物 { 配 達 數 3,833,842,000	34,667,346 <sup>個</sup>	人口一萬人=付 { 配 達 數 68.51	58.70 <sup>個</sup>					
				{ 引 受 數 3,815,528,000	32,390,915	{ 引 受 數 68.18	54.85 <sup>個</sup>	

本表中 實數ハ大正九年ノ數ニ依ルコトヲ得サルモノハ概テ大正八年若シクハ大正七年ノ數ニ依レリ

## 大正九年奈良縣統計書第一編目次

## 概 說

## 第 一 土 地

位 置	1
地 勢	1
山嶺及河川	1
面 積	1
地 質	1
交 通	1
著名ノ都邑	2
民業及物産	2

## 第 二 戶 口

人 口	2
戶 數	3

## 第 三 教 育

學齡兒童	3
小 學 校	4
諸 學 校	4
公 學 費	5

## 第 四 社 寺

社 寺	4
-----	---

## 第 五 慈 惠 及 褒 賞

慈惠救濟資金	5
慈善的團體	5
日本赤十字及愛國婦人會	5
褒賞人員	5

## 第 六 警 察

警察官署	5
檢舉犯罪事故	5
消 防 組	6

## 第 七 裁 判 及 登 記

民事訴訟件數	6
不動產登記	6

## 第 八 衛 生

醫療機關	6
------	---

各種傳染病	6
病死者ノ數	7

## 第 九 財 政

經 費	8
諸 稅 負 擔	9

## 統 計 表

## 土 地

第 一 本縣ノ位置	1
第 二 國郡市ノ面積及廣袤	1
第 三 郡市ノ區畫	2
第 四 郡市町村區畫	2
第 五 警察區畫	11
第 六 稅務署區畫	11
第 七 裁判所及登記所區畫	12
第 八 陸軍管區	13
第 九 徵兵管區	13
第一〇 憲兵管區	13
第一一 林務管區	14
第一二 土木管區	14
第一三 土木工區	14
第一四 流水檢査所區畫	15
第一五 蠶業取締所區畫	15
第一六 支金庫區畫	15
第一七 縣金庫區畫	16
第一八 官有地段別ノ一(種類別)	16
第一九 官有地段別ノ二(郡市別)	17
第二〇 民有地ノ一(全管)	18
第二一 民有地ノ二(郡市別)	18
第二二 民有無租地段別	19
第二三 荒地地段別	19
第二四 開墾地或段別	20
第二五 民有地地價ノ平均及最高最低(一段步當)	20
第二六 土地賣買價格ノ一(田一段步當)	21
第二七 土地賣買價格ノ二(畑一段步當)	22
第二八 土地賣買價格ノ三(宅地一段步當)	22
第二九 土地賃貸價格ノ一(田一段步當)	23
第三〇 土地賃貸價格ノ二(畑一段步當)	23

第三一 土地賃貸價格ノ三(宅地一段歩當).....24

戸 口

第三二 戸數及人口累年比較.....25

第三三 戸數及人口都市別.....26

第三四 世帯及人口都市別(國勢調査ノ結果).....

第三五 本籍人口ノ一(族籍別).....26

第三六 本籍人口ノ二(生年別).....27

第三七 本籍人口生産、不生産の年齢別.....31

第三八 本籍高齢者人員.....32

第三九 本籍有配偶者及無配偶者.....32

第四〇 本籍婚姻及離婚(都市別).....33

第四一 本籍人出生.....33

第四二 本籍人死亡.....34

第四三 入籍及除籍ノ一(類別).....34

第四四 入籍及除籍ノ二(都市別).....35

第四五 本籍人中刑法犯人員.....36

第四六 本籍人中特別法犯人員.....37

第四七 職業ニ依リ分テタル  
現住戸數及現住人口(全管).....38

第四八 職業ニ依リ分テタル  
現住人口ノ一(本業有業者).....38

第四九 職業ニ依リ分テタル  
現住人口ノ二(副業有業者).....39

第五〇 職業ニ依リ分テタル  
現住人口ノ三(無業者).....39

第五一 職業ニ依リ分テタル  
現住戸數ノ一(本業有業戸數).....39

第五二 職業ニ依リ分テタル  
現住戸數ノ二(副業戸數).....40

第五三 現住人口年齢別.....40

第五四 現住人口生産、不生産の年齢別.....44

第五五 現住高齢者人員.....44

第五六 現住有配偶者及無配偶者.....45

第五七 現住死亡者ノ一(月別).....45

第五八 現住死亡者ノ二(年齢別).....46

第五九 現住人死産.....46

第六〇 出入人員.....47

第六一 海外渡航人員ノ一(渡航先國別).....47

第六二 海外渡航人員ノ二(都市別).....48

教 育

第六三 學齡兒童.....50

第六四 公立小學校兒童.....50

第六五 公立小學校入學及卒業兒童.....51

第六六 公立小學校及學級.....52

第六七 加設科目ヲ課スル公立小學校.....53

第六八 公立小學校教員.....54

第六九 公立小學校教員俸給別ノ一(全管).....55

第七〇 公立小學校教員俸給別ノ二(都市別).....56

第七一 公立小學校教員俸給多寡別.....58

第七二 公立小學校授業料.....60

第七三 公立實業學校各種學校幼稚園.....61

第七四 私立各種學校.....62

第七五 公立及私立圖書館.....62

第七六 公立小學校及實業學校  
各種學校等資産ノ一(都市別).....63

第七七 公立小學校及實業學校  
各種學校等資産ノ二(種別).....64

第七八 公立小學校及實業學校  
各種學校等收入ノ一(都市別).....68

第七九 公立小學校及實業學校  
各種學校等收入ノ二(種別).....68

第八〇 公立小學校及實業學校  
各種學校種等歳出ノ一(都市別).....69

第八一 公立小學校及實業學校  
各種學校等歳出ノ二(學校別).....70

第八二 縣立學校職員及生徒.....74

第八三 奈良縣師範學校附屬小學校職員及兒童.....76

第八四 奈良縣女子師範學校  
附屬小學校職員及兒童.....77

第八五 縣立學校資産.....78

第八六 縣立學校歳入.....80

第八七 縣立學校歳出.....82

第八八 小學校教員檢定及免許狀授與人員.....84

第八九 公立小學校及實業補習學校  
教員恩給基金並恩給收支表.....83

第九〇 縣立師範學校公立學校及公立圖書館  
職員國庫納金及公費收支表.....85

第九一 學 校 醫.....86

第九二 壯丁教育程度.....86

第九三 奈良帝室博物館陳列品(種類別).....87

第九四 奈良帝室博物館來觀人員及觀覽料(月別).....88

第九五 新聞紙及總紙ノ發行.....88

社 寺

第九六 神 社.....91

第九七 寺 院.....91

第九八 神 職ノ一(都市別).....92

第九九 神 職ノ二(階級別).....92

第一〇〇 住 職.....93

第一〇一 神道教務所及說教所.....93

第一〇二 佛道教務所及說教所.....94

第一〇三	官幣社基本財産	94
第一〇四	官幣社蓄積金額	95
第一〇五	古社寺及國寶保存等資金額	96
第一〇六	神饌幣帛料供進指定神社	98

### 慈惠及褒賞

第一〇七	慈惠救濟資金	99
第一〇八	日本赤十字社奈良支部職員及社員	100
第一〇九	日本赤十字社奈良支部收支金額	102
第一一〇	日本赤十字社奈良支部社員及年餼金額	102
第一一一	日本赤十字社奈良支部 入社員及年餼金額	103
第一一二	日本赤十字社奈良支部 社員年餼金及寄附金實收額	104
第一一三	愛國婦人會奈良支部會員及會費	104
第一一四	國費恤窮ノ一(人員)	105
第一一五	國費恤窮ノ二(米數量及價額)	106
第一一六	慈善團體	106
第一一七	行旅病人死亡及費額	108
第一一八	褒賞人員	108

### 警 察

第一一九	警察署配置官吏	109
第一二〇	檢舉犯罪人及警察犯處罰令 諸犯則人員ノ一(種別)	110
第一二一	檢舉犯罪人及警察犯處罰令 諸犯則人員ノ二(警察署別)	111
第一二二	警察犯其他即決處斷人員ノ一(種別)	112
第一二三	警察犯其他即決處斷人員ノ二(警察署別)	113
第一二四	假出獄及假出場人員	114
第一二五	盜難ノ一(警察署別)	115
第一二六	盜難ノ二(月別)	115
第一二七	盜難等被害財産ノ一(警察署別)	116
第一二八	盜難等被害財産ノ二(月別)	117
第一二九	盜贓物ノ發見額	118
第一三〇	得遺失物及賊捨置品處分	118
第一三一	變死人員(警察署別)	119
第一三二	自殺ノ因由及年齡	120
第一三三	自殺者ノ住所及緣事上ノ關係	121
第一三四	自殺者ノ月別及所爲	121
第一三五	警察上死傷セシ人員	122
第一三六	救護(警察署別)	122
第一三七	火災ノ一(月別)	123
第一三八	火災ノ二(原因及警察署別)	123
第一三九	消防組	124

第一四〇	銃砲及火藥類ノ賣買高	125
第一四一	警察取締ニ關スル各種營業	125
第一四二	貸座敷及娼妓	129
第一四三	警察上ニ係ル賞與	130

### 裁判及登記

第一四四	民事第一審訴訟件數及種類	131
第一四五	民事第二審訴訟件數及種類	131
第一四六	民事抗告件數	131
第一四七	民事第一審訴訟金額價額階級	132
第一四八	民事第二審訴訟金額價額階級	132
第一四九	破産件數及種類	132
第一五〇	督促件數及種類	133
第一五一	和解件數	133
第一五二	非訟事件數	134
第一五三	強制執行總數及種類別件數	134
第一五四	強制執行終局件數ニ因ル 債權額階級及人員金額	134
第一五五	家賃分散件數人員及債權額 及復權申立件數	135
第一五六	訴訟及非訴訟事件貼用印紙金額	135
第一五七	豫審件數(受理終局及未終局)	136
第一五八	第一審ニ於ケル終局被告人ノ所遇	136
第一五九	第一審ニ於ケル刑ノ執行猶豫	136
第一六〇	刑事控訴件數(受理終局未終局)	137
第一六一	刑事控訴審ニ於ケル終局被告人ノ所遇	137
第一六二	公訴附帶私訴件數(受理終局未終局)	137
第一六三	不動産及船舶登記ノ一(甲號)	138
第一六四	不動産及船舶登記ノ二(乙號)	139
第一六五	不動産及船舶登記ノ三(登記所別)	140
第一六六	立木登記ノ一(種類別)	142
第一六七	立木登記ノ二(登記所別)	142
第一六八	工場財團登記(種類別)	142
第一六九	法人其他各種登記件數及登録稅	143
第一七〇	各種登記謄本其他件數及 手数料ノ一(種類別)	143
第一七一	各種登記謄本其他件數及 手数料ノ二(登記所別)	144
第一七二	商號、未成年者妻法定代理人、支配人、 商事會社、産業組合及耕地整理登記	145

### 衛 生

第一七三	醫 師	147
第一七四	產婆、看護婦、鍼灸術及藥舖	147
第一七五	死亡者病類別	148



目 次

第一七六 死亡者月別…………… 154

第一七七 死亡者年齡別…………… 155

第一七八 傳染病患者及死亡ノ一(郡市別)…………… 156

第一七九 傳染病患者及死亡ノ二(月別)…………… 157

第一八〇 傳染病患者及死亡ノ三(年齡別)…………… 158

第一八一 種痘成績…………… 159

第一八二 私立病院…………… 160

第一八三 私立病院患者病症別…………… 160

第一八四 娼妓健康診斷…………… 161

第一八五 壯丁身體檢查成績ノ一(種類別)…………… 161

第一八六 壯丁身體檢查成績ノ二(身長區分)…………… 162

第一八七 壯丁身體檢查成績ノ三(體重區分)…………… 163

第一八八 壯丁身體檢查成績ノ四(有病者人員)…………… 163

第一八九 公立小學校兒童身體檢查成績年齡別ノ一(男、身長)…………… 164

第一九〇 公立小學校兒童身體檢查成績年齡別ノ二(女、身長)…………… 164

第一九一 公立小學校兒童身體檢查成績年齡別ノ三(男、體重)…………… 165

第一九二 公立小學校兒童身體檢查成績年齡別ノ四(女、體重)…………… 166

第一九三 公立小學校兒童身體檢查成績年齡別ノ五(男、胸圍)…………… 166

第一九四 公立小學校兒童身體檢查成績年齡別ノ六(女、胸圍)…………… 167

土 功

第一九五 土木費ノ一(費途別)…………… 169

第一九六 土木費ノ二(郡市別)…………… 169

第一九七 道路ノ一(延長、幅員及勾配)…………… 170

第一九八 道路ノ二(新築、改築、修繕、復舊及費金)…………… 172

第一九九 橋梁ノ一(著大ノ橋梁)…………… 172

第二〇〇 橋梁ノ二(個數)…………… 173

第二〇一 橋梁ノ三(新築、改築、修繕、復舊及費金)…………… 175

第二〇二 河川ノ新築、改築、修繕、復舊及費金…………… 176

第二〇三 用惡水路ノ一(個所及延長)…………… 177

第二〇四 用惡水路ノ二(新築、改築、修繕、復舊及費金)…………… 178

第二〇五 災害ノ一(暴風雨被害類別)…………… 178

第二〇六 災害ノ二(暴風雨被害損失價額ノ郡市別)…………… 181

交 通

第二〇七 道路ノ一(國縣道路延長)…………… 183

第二〇八 道路ノ二(郡道路延長)…………… 185

第二〇九 汽車鐵道ノ哩數及敷地面積(官營關西線)…………… 190

第二一〇 汽車ノ旅客貨物及賃錢(官營關西線)…………… 191

第二一一 鐵道各驛發送貨物…………… 194

第二一二 鐵道各驛到着貨物…………… 198

第二一三 私營汽車鐵道ノ哩數及敷地面積…………… 200

第二一四 私營汽車ノ旅客貨物及賃錢…………… 200

第二一五 私營電氣軌道哩數及敷地面積…………… 201

第二一六 私營電車ノ旅客貨物及賃錢…………… 201

第二一七 索道線路ノ延長貨物及賃金…………… 202

第二一八 諸 車…………… 202

第二一九 小 船…………… 203

第二二〇 郵 便…………… 204

第二二一 小包郵便…………… 204

第二二二 電信(郡市別)…………… 205

第二二三 電話交換度數及料金…………… 206

財 政

第二二四 諸稅負擔對照…………… 209

第二二五 國稅徵收額ノ一(累年比較)…………… 209

第二二六 國稅徵收額ノ二(郡市別)…………… 210

第二二七 地租徵收額ノ類別…………… 211

第二二八 地租納稅額別人員…………… 211

第二二九 所得稅納稅額別人員…………… 212

第二三〇 國稅滯納處分…………… 213

第二三一 租稅外國庫歲入額…………… 214

第二三二 登錄稅ノ一(種類別)…………… 215

第二三三 登錄稅ノ二(登記所別)…………… 217

第二三四 縣特別經濟歲入歲出及資金額…………… 218

第二三五 國庫支出ノ本縣經費額(累年比較)…………… 219

第二三六 縣 歲 入 額…………… 223

第二三七 縣 歲 出 額(累年比較)…………… 225

第二三八 縣稅徵收額(郡市別)…………… 230

第二三九 縣稅徵收額成績…………… 231

第二四〇 縣稅滯納處分ノ一(種類別)…………… 231

第二四一 縣稅滯納處分ノ二(督促令狀ヲ發シタルモノ)…………… 232

第二四二 郡歲入額ノ一(累年比較)…………… 233

第二四三 郡歲入額ノ二(郡別)…………… 233

第二四四 郡歲出額ノ一(累年比較)…………… 234

第二四五 郡歲出額ノ二(郡別)…………… 235

第二四六 市町村歲入額ノ一(累年比較)…………… 236

第二四七 市町村歲入額ノ二(郡市別)…………… 238

第二四八 市町村歲出額ノ一(累年比較)…………… 240

第二四九 市町村歲出額ノ二(郡市別)…………… 243

第二五〇 市町村稅滯納處分ノ一(種類別)…………… 246

第二五一 市町村税滞納處分ノ二(郡市別)..... 246

第二五二 地方債借入償還現存高..... 248

第二五三 縣有財産ノ一(土地建物)..... 249

第二五四 縣有財産ノ二  
(公債證書、株券、預金、貸付金)..... 250

第二五五 郡有財産(郡別)..... 251

第二五六 市町村基本財産ノ一(市町村經濟  
全般ノ爲ニ設備スルモノ)..... 251

第二五七 市町村基本財産ノ二(特定ノ目的  
ノ爲ニ設備スルモノ)..... 252

第二五八 市町村有財産ノ一(種類別)..... 252

第二五九 市町村有財産ノ二(郡市別)..... 253

第二六〇 市町村立學校基本財産..... 254

第二六一 國費年金恩給受給者口數..... 255

第二六二 國費年金恩給支給金額..... 255

第二六三 小學校教員及巡查退隱料  
受給者人員金額..... 256

議 會

第二六四 貴族院議員及互選有權者調..... 257

第二六五 衆議院議員及選舉有權者調..... 257

第二六六 縣會議員選舉權調..... 258

第二六七 縣會及縣參事會..... 258

第二六八 郡會議員選舉調..... 259

第二六九 市町村會議員數及選舉有權者..... 259

官 吏 及 公 吏

第二七〇 縣官吏ノ一(累年並期)..... 261

第二七一 縣官吏ノ二(階級別)..... 261

第二七二 縣吏員ノ一(種類別)..... 263

第二七三 縣吏員ノ二(階級別)..... 264

第二七四 郡吏員ノ一(人員)..... 268

第二七五 郡吏員ノ二(月俸額)..... 269

第二七六 郡吏員ノ三(階級別)..... 269

第二七七 市吏員及俸給..... 271

第二七八 町村吏員ノ一(人員)..... 271

第二七九 町村吏員ノ二(報酬及給料)..... 272

附 錄

第二八〇 本縣管轄地ノ沿革..... 1

第二八一 山嶽ノ景狀..... 7

第二八二 瀑布ノ形狀及脈絡..... 8

第二八三 河川ノ脈絡..... 10

第二八四 御 陵..... 10

第二八五 御 墓..... 12

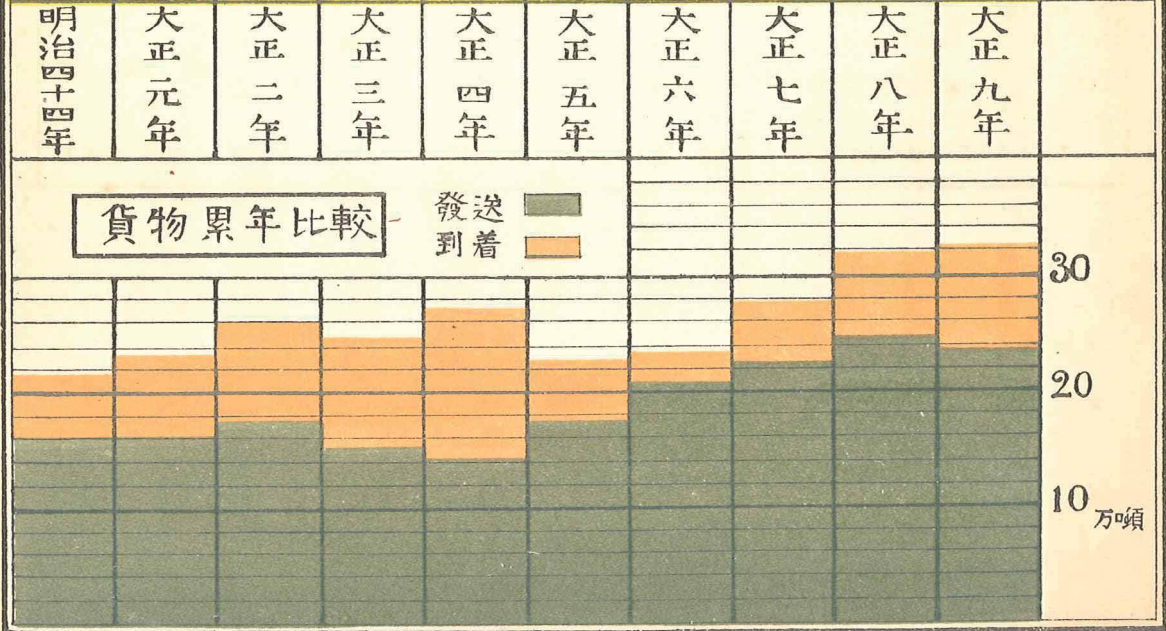
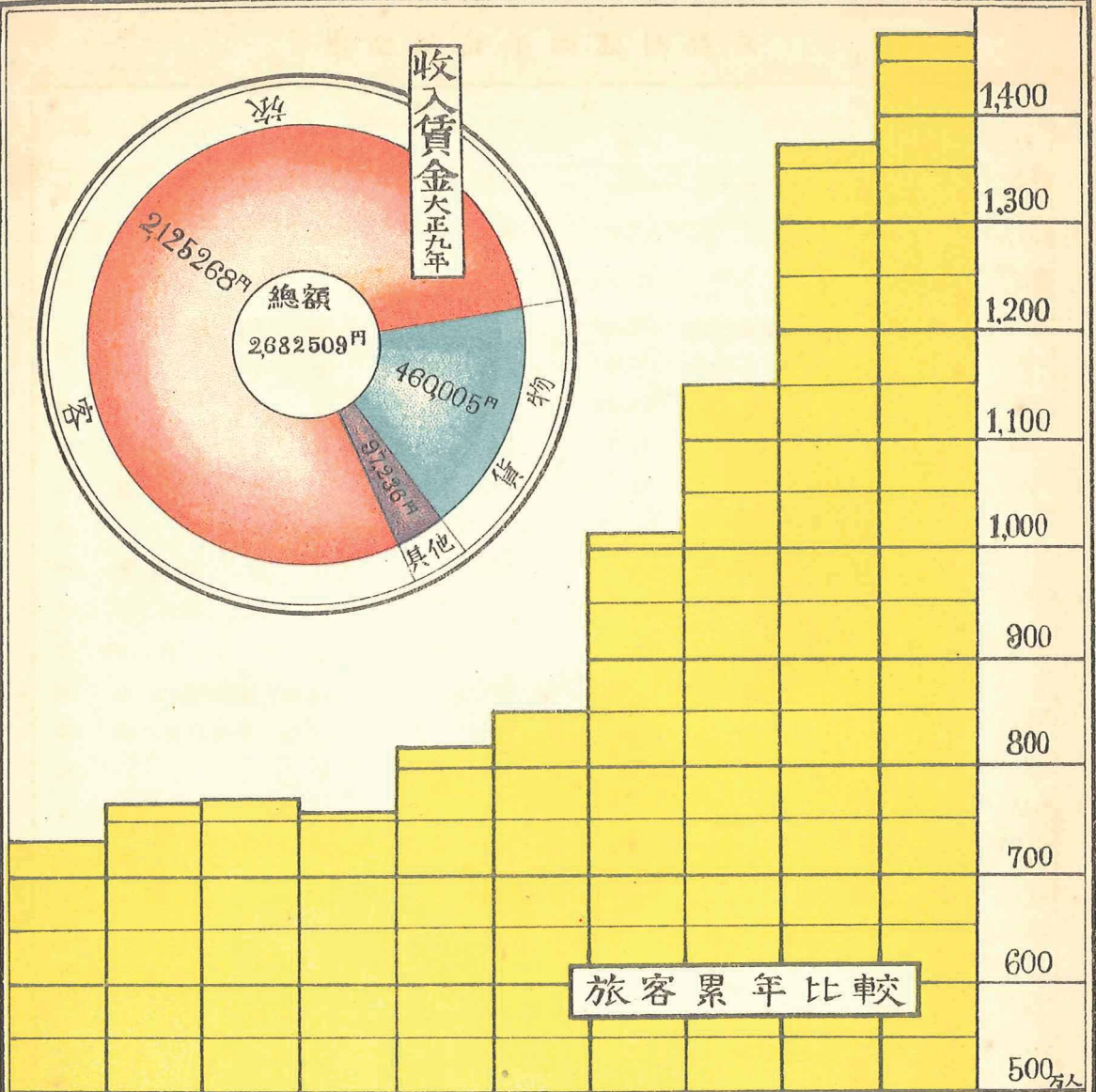
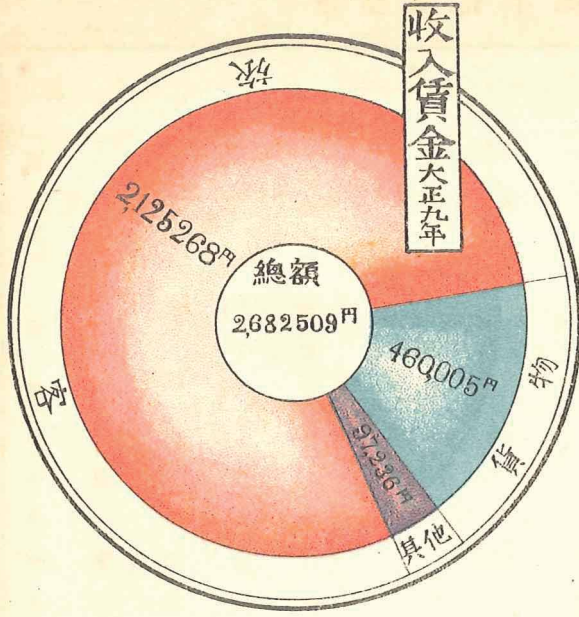
第二八六 城 址..... 12

第二八七 名勝古蹟..... 12

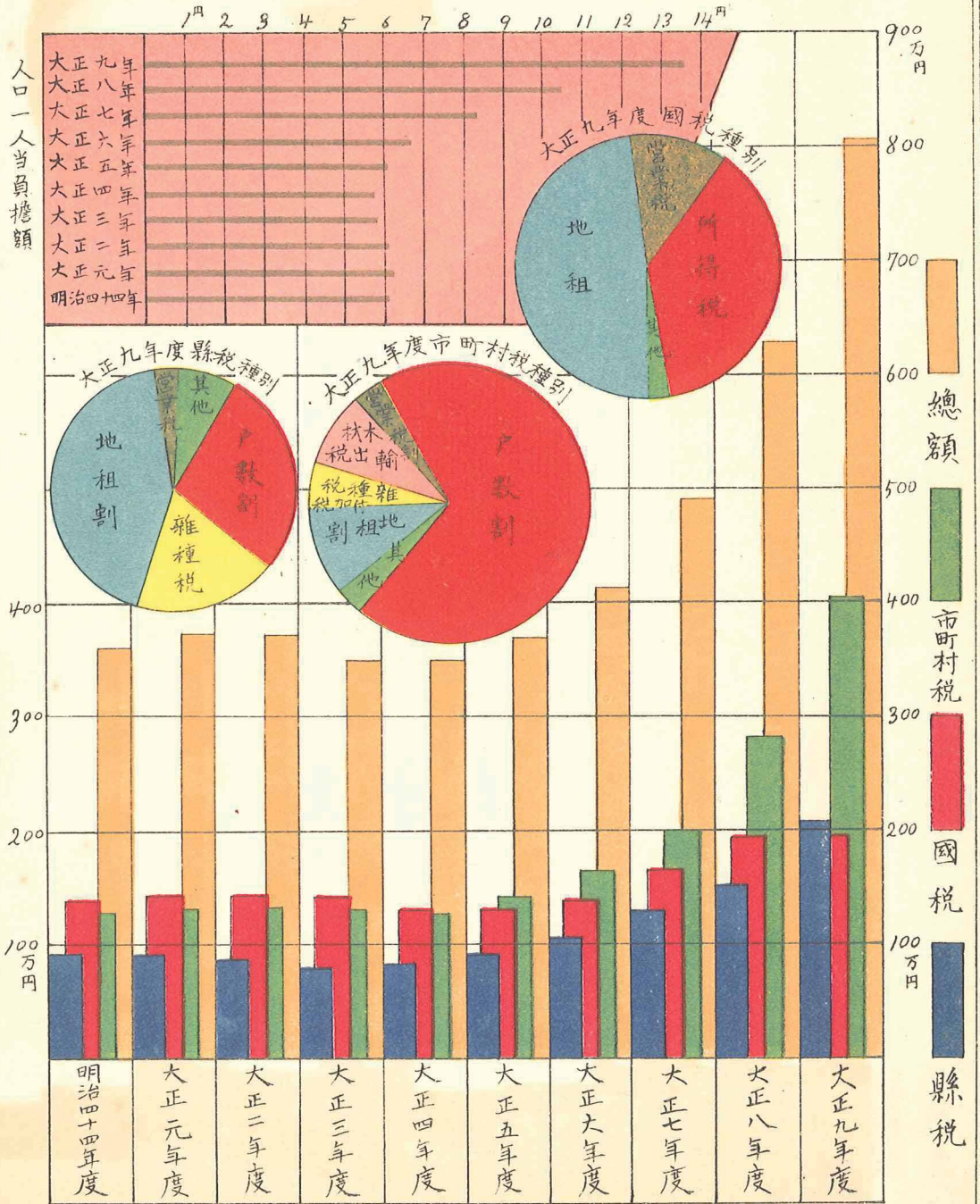
第二八八 公 園..... 14

第二八九 特別保護建造物..... 14

# 官營鐵道旅客貨物及收入貨金比較



# 諸稅負擔額累年比較



# 傳染病患者及死亡累年比較

